

# これからの教育・保育業界に求められる日本版ネウボラ事業

～今の子育て支援等を見直し、地域に本当に必要とされる持続可能な園づくりへ～

## 2022年度 保育所サポートデスク ウェビナー(第1回)

こども家庭庁に関連する法案が成立し、国は2023年4月の設立に向けた準備を進めています。国はこれまでの待機児童の解消を目的とした保育サービスの量的拡充から、「子どもを真ん中に置いた」質的な充実へと施策方針を転換し、会員の皆様におかれましても、新たな経営戦略の検討を始められていることと拝察いたします。

今後の運営・事業展開に向け、新たな方策に取り組み始めている法人・園も現れ始めていますが、重要なのは、法人の理念や担うべき使命、社会に提供すべき貢献や価値などを改めて問い直し、地域に本当に必要なものを提供し続けてゆくことであり、それが持続可能な園経営のポイントとなるのではないのでしょうか。

今回の保育所サポートデスクのウェビナーでは、年齢や制度の壁によらない、切れ目のない包括的な子育て支援を先駆的に実践する「社会福祉法人つばさ福祉会」様の理事を務め、事業の中心となって活躍されている榊原久子氏をお招きし、活動の内容や足跡、事業において目指すものなどをお話しいたします。

本セミナーを通じて、これまで各園で実施していた子育て支援等の取り組みを見直し、将来にわたる経営継続や、そのために不可欠の要件である「地域になくてはならない」法人となるための方策などをご検討いただく、その一つのきっかけとなればと考えております。

今年度も ZOOM を活用したオンラインでのセミナー となりますので、当日はカメラ付きのパソコン、もしくはスマートフォン・タブレットなどの必要な環境をご準備ください。

会員園の経営層の方、現場管理の主任・主幹教諭の方なども無料でご参加いただけます。別紙申込用紙にご記入のうえFAXにて、またはメールニュースで配信するインターネット申し込み専用フォームよりお申し込みください。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

# これからの教育・保育業界に求められる日本版ネウボラ事業

～今の子育て支援等を見直し、地域に本当に必要とされる持続可能な園づくりへ～

2022年度 保育所サポートデスク ウェビナー(第1回)

## < 開催概要 >

<b>【開催日時】</b>	<p>2022年8月24日(水) 13:00～15:00(予定)</p> <p>(必要に応じ、研修の合間に休憩をはさませていただく場合があります。)</p> <p>※ZOOMでのセミナーとなりますので、開始5分前頃にはご準備ください。</p>
<b>【主な内容】</b> (予定)	<p><b>13:00～14:30 日本版ネウボラ(子育て世代包括支援)とは</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「妊娠期からの切れ目ない支援」が、今なぜ必要なのか～日本版ネウボラの意義と目的～</li> <li>・保育園を活用した妊娠期からの切れ目ない支援の実際 (地域協働型子育て支援/医療・保健・保育をつなぐ多職種連携/オンラインを活用した子育て支援事業)</li> </ul> <p><b>14:30～15:00 グループワーク(多(他)職種連携)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各園の取組や研修で感じたことをグループごとで話し合います</li> </ul>
<b>【講師】</b>	<p>榊原 久子 氏(さかきばら ひさこ)</p> <p>鎌倉女子大学児童学部児童学科 准教授、社会福祉法人つばさ福祉会理事 日本赤十字助産師学校 非常勤講師、にっぽんネウボラネットワーク代表 など 公認心理師・臨床発達心理士・幼稚園教諭第一種・保育士</p> <p>幼稚園・保育所の現場で担任として保育にあたり、和光市南子育て世代包括支援センターの施設長として、日本版ネウボラ(子育て世代包括支援)の実践と普及・啓発に尽力した。その後、大学等の講師や自治体等での多数の講演を行うほか、2016年から社会福祉法人つばさ福祉会の世代包括事業担当として保育所版ネウボラ事業を立ち上げ、「子育てに関する相談窓口」としてワンストップを目指し、自治体・NPO・医療法人など「多(他)職種」との連携を図った多彩な取組を展開した。現在は、つばさ福祉会法人理事として同事業の統括を行うほか、鎌倉女子大学での次世代の教育・保育者の養成、公認心理師としての活動、自治体・団体等が行うキャリアアップ研修の講師や専門会議・検討会の委員など、幅広く活躍している。</p> <p>論文「地域の子育て世代包括支援の現場から願う女性医師への期待」 論文「「かかりつけ相談窓口」としての保育所子育て支援の一考察 ーオンラインまちの赤ちゃん保健種の実践からー」(子ども教育研究所紀要) 「オンライン子育て支援から見えてくる子育て～今後必要とされる子育て支援とは～」 月刊「母子保健」2022年1月号(公益財団法人母子衛生研究所)などに多数執筆</p>
<b>【参加費】</b>	<p>保育所サポートデスク会員園の方 無料</p>
<b>【お申し込み】</b>	<p>次頁の申込用紙にご記入のうえFAXまたはメール、もしくは保育所サポートデスクホームページの専用フォームよりお申し込みください。</p> <p>お申し込み受付確認後、受講票及びオンラインセミナーの参加方法などをメールにて、お送りいたします。</p>

# これからの教育・保育業界に求められる日本版ネウボラ事業

～今の子育て支援等を見直し、地域に本当に必要とされる持続可能な園づくりへ～

2022 年度 保育所サポートデスク ウェビナー(第 1 回)

## お申し込み用紙

(ご記入いただいた情報は本セミナーの開催・運営のみに使用いたします。)

保育所(または勤務先等)名	(ご紹介いただいた保育所サポートデスク会員(法人名または施設名): )	
上記所在地	〒 -	
電話番号		
メールアドレス ※ID等の発行のため、 必須となります。	(※メールアドレス【携帯不可】は鮮明にお書きください)	
ご氏名・役職等	役職・職種等	ご氏名

※ 参加希望者が4名以上の場合は、本紙をコピーしてご使用ください。

※ 複数名でお申し込みの法人様には、申し込み数が定員を超えた場合に限り、より多くの会員法人様にご参加いただくため、人数の調整をお願いする場合がございます。

### 参加にあたっての事前のご協力をお願いいたします

本セミナーのテーマに関連したご質問・お悩み (例：子育て支援の内容がマンネリ化している、広報活動の  
をどう行えばよいのか、人材と資金の確保が難しい、所在する地域特有の～という課題をどう解決すべきか など)  
ど) がございましたらお書きください。講演の参考とさせていただきます(席上での直接回答を目的とするものではございませんので、あらかじめご了承ください)。

お問い合わせ先 TEL 03-6279-0331 (担当：柳・青田)

**FAX 送信先 050-3488-7866**

インターネットからのお申し込み：

[https://childcaresupport.net/about-seminar/seminar\\_entry](https://childcaresupport.net/about-seminar/seminar_entry)